スマイル　天神

天神小学校
学校だよりNo.２２
平成30年10月12日
発行者　蒲川法子



思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

後期スタート！



今週から後期が始まりました。始業式では、後期前半の合い言葉について話しました。それは、「**できたことを見せる**」です。

あいさつ、返事、話し方、聞き方、読書、テストやプリント、そうじ、係や委員会の仕事等、子どもたちのがんばった成果を周囲に見せてほしいと思います。「やればできるのに・・・」と耳にすることがありますが、それは、やっていないことと同じです。何事にも全力で取り組み、できるまで繰り返しがんばる子どもになってほしいと思います。

てんじん５校（天神小、港小、福石小、崎辺中、福石中）で、「家庭生活のすすめ」「家庭教育のすすめ（保護者用）」を作成したことも合わせて伝えました。家庭学習の目安として毎日少なくとも低学年で３０分、中学年で４５分以上、高学年で６０分以上学習しようと示しています。家庭学習の成果もぜひ見せてほしいものです。

学校保健委員会（給食試食会・食育講話・味噌造り）



１０月１１日、育友会の生活保健安全部役員の皆様にお世話いただき、給食試食会、味噌造り、吉井保育所副園長の中尾慶子先生の講話がありました。

給食の献立は、ごはん、牛乳、さつま汁、さわらのてんぷら、かおりあえでした。本校学校栄養職員の古賀先生より給食についての話もありました。ごはんは週３回で県産米を使用していること、佐世保産の牛乳が毎日出ること、週に１回は、魚が出ること、衛生管理を万全にするため、野菜は、すべて加熱調理されていること等です。参加された皆さんに声をかけましたが、笑顔で「おいしい」とおっしゃっていました。食後、各クラスを見学していただきました。子どもたちも見ていただいて喜んでいたようです。

引き続き、中尾先生の指導による味噌造りがありました。中尾先生の軽快な語りで作業を進めながら、子育てについて、食育についてお話を聞くことができました。体温が低くなるとよくないこと、体温を上げるには腸内環境を整えることが大切なこと、そのために発酵食品が有効なこと、最近では様々な体調の問題を抱えた子どもがいること、子育ては、大変だけど愛情を持って親元を離れるまで楽しむこと等、とても盛りだくさんの内容でした。中尾先生のお話を聞いてもっと味噌汁を作って食べなくては・・と感じました。

登校時刻について・・・本校では**７時４０分から８時１０分までの間**に学校に着くように指導しています。通学路で横断歩道等に毎朝、保護者や地域の方が子どもたちの安全のために立ってくださっています。朝の忙しい時間に本当にありがたいことです。早すぎたり遅すぎたりしないよう自宅を出発させてください。

帰宅時刻について・・・日没が早くなり、夕方、暗くなるのが早くなってきました。後期から帰宅時刻は**１７時**です。１７時には確実に家に帰り着くようご家庭でもご指導ください。

天神小学校一徳運動・・・きもちのよいあいさつ